

てらこや

平成 30 年
7 月 23 日(月)
大智院

おやくそく

※「てらこや」今年もがんばります※

今年もみんなの笑顔と元気が大智院に大集合！なつかしい顔、新しい顔。それぞれが期待ではちきれそうです。ここてらこやでしかできない体験を積み重ね、自分をみがきましょう。そして、みなさんがもつ清らかな心を大きく成長させてみてください。てらこや卒業生の佐野佑希那さん、平野稀菜歩さん、佐藤優来さんもスタッフに参加。いよいよスタートです。

※今日の学習※

てらこやにはおやくそくがあります。(右下) みんなで気持ち良く楽しく過ごすために考えらえられたものです。このおやくそくを唱え、礼儀作法から初日の学習は始まりました。

まずは、お寺への入り方。靴箱にきちんと靴をそろえて入れること、次は元氣なあいさつ。金剛殿に入ったら正座の練習。持ち物には必ず名前を書くことを約束します。こうした学習を毎日繰り返し返すことで、子どもたちに礼儀、気配り、忍耐力、そして落ち着きと注意力を育てます。畳での長時間の正座は、椅子の生活に慣れた子どもたちにはかなりの苦痛。それでもがんばり通すことをてらこやで学ぶのです。さらに、般若心経のお勤めや、毎日使う「いろは歌」「お大師様」「未来へつなぐメッセージ」の歌と「詩吟」の勉強をしました。

※『ふろしき』を使ってみよう！※

てらこやでは持ち物はみんな風呂敷で包んで持ち運びします。日本の伝統文化、風呂敷。それを使うことで、祖先の知恵の素晴らしさを知り、さらに「包む・結ぶ」といった動作を繰り返し返すことで子どもたちが手先まで器用になってほしいと考えているからです。



- 一、 明るいいあいさつ げんきなへんじ
- 二、 きたときよりも うつくしく
- 三、 よくかんがえ すすんでまなぶ

※方丈様のおはなし 全4話 ※

『一了人共『生きる知恵を学びあう』①』

『子供』という字を分解すれば、始めから終わりまで人と共にあるとなります。待ったなしの子育て、今年の寺子屋が始まりました。どんな出会いが子どもたちを待っているのでしょうか。保護者の皆様と共にお子様の成長を楽しみにしたいと思います。

…②へつづく

※今日の感想※

☆タクテヤ、ホイ！が楽しかった。

二年 伊井 康陽

☆詩吟で音をきれいにさせるように教えてもらったので練習しようと思います。

三年 小原 風佳

☆ふろしきでいろんな包み方があるので勉強になった。

五年 早川 香穂

※保護者の集いのお知らせ※

明日二十五日九時より保護者の集いを開催いたします。寺子屋の予定や躰・子育て・子を取り巻く環境などについて話し合います。是非、ご参加ください。

今日の参加者

子ども 八十八人
大人 十四人

明日 24 日
お迎え時間
11 時
お願い致します。

明日七月二十四日(火)の持ち物

○風呂敷 筆記用具・夏休みの友や課題
ぞうきん一枚(毎日)・ハンカチ・はながみ

★持ち物には名前を忘れずに